



# 碩田中学校区新設校

# 開校準備委員会NEWS

第4号



## 第四回開校準備委員会を開催しました

二月十六日（火）の午後七時から、大分市教育センター・三〇二研修室において、第四回開校準備委員会を開催しました。

会議では、第四回開校準備委員会までに各専門部会で検討した事項について報告がありました。

はじめに、学校部会長の安東委員から、主に、校名案や制服についての説明がありました。その中で、校名については、「碩田」のあとに付け加える名称として、「学館」「学舎」「学院」「学園」の四案に絞ることが了承されました。また、制服については、第二回アンケート調査を実施し、保護者の意見を集約した上で、慎重に審議していきたいとのこと報告されました。

次に、学校支援部会長の山岡委員から、主に、通学路の整備要望事項に関する各機関からの回答の報告、PTA組織や児童育成クラブに関する

る協議の進捗状況などについて説明がありました。

次に、施設部会長の岩本委員から、新設校の各部屋における愛称の決め方やランチルームなどで有効活用が出来る備品の展示会のほか、地域連携室の活用については、学校支援部会とも今後協議を進めていくことなどが報告されました。

（各専門部会からの報告は、二・三面に記載しています。）

最後に、アドバイザーから、校名案や施設開放について助言をいただき、閉会となりました。

（内容は、四面に記載しています。）

第5回開校準備委員会は  
平成28年5月10日（火）  
大分市教育センター  
302 研修室にて開催します  
19:00～20:30  
開校準備委員会の会議は  
傍聴できます



## 学校部会からの報告

### 校名案について

- 碩田中学校区のこれまでの歴史と伝統を大切にしつつ、新たな学校として開校すること、学校への思いや願いなどを確認しながら協議しました。



- ☆ その結果、「**碩田**」がもっともふさわしいと再確認されました。  
《理由》「碩」には「優れている」、「充実している」という意味があり、「碩田」には、歴史や伝統、未来志向的な思いが十分に包含されていると考えられるため。



- また、「碩田」のあとにつける名称として「**学館**」「**学舎**」「**学院**」「**学園**」の4案に絞りました。今後は、この中から教育委員会において再度検討を重ねていきます。

### 制服について

#### 《制服導入の効果として確認されていること》

- ・ 統一感、連帯感が生まれ、子どもたちの帰属意識や仲間意識等が高まり、母校を誇りに思う心情がはぐくまれること
- ・ 地域の方からも一目で分かることで、見守り等の安全性が高まること
- ・ 学校生活とその他の生活の区切りが付けやすく、子どもたちの規範意識や規律性が育成しやすいこと
- ・ 制服を着用することにより、長期的には衣服に係る費用の軽減につながること



#### 《課題》 ・ 機能性 ・ 耐久性 ・ 保護者の経済的な負担等

→ これらの課題については、制服に使う生地や、前期・中期・後期のデザイン等を工夫すること、移行期間を設けることなどで一定程度の解決が図られることから、学校部会では、保護者の意見を十分に考慮しながら「制服を導入する」方向で、導入時期等の検討を進めることとしました。

☆ 今後、保護者対象の第2回アンケート調査を実施し、再度、保護者の皆様のご意見を伺い、制服導入時期の方向性について、さらに検討を行う予定です。

### メモリアルコーナーについて

- ① **目的** 碩田中学校及び荷揚町小学校、中島小学校、住吉小学校の各学校の伝統と歴史を引き継ぐ空間を設置する。
- ② **設置場所** (展示スペース)  
新設校におけるメモリアルコーナーは、アリーナ棟1階<地域連携室>と校舎棟2階<交流ラウンジ>の2ヶ所に、各学校の展示ケースを設置することとしました。

## 学校支援部会からの報告

### P T A 組織について

- 4校P T A合同検討会を10月から2月まで月1回のペースで開催しました。
- ☆ 平成28年度のP T A総会で、進捗状況と今後の計画について、ある程度説明をする必要があると考えています。

## 通学路について

○ 各機関からの要望事項における回答を受け、再度通学路の見直しを行いました。

\* 松栄神社から城址公園・中島西の暗渠上歩行者専用道路のコースを追加する。

\* 浜町北の大在大分港線北側歩道のコースへ変更する。



今後の  
取り組み

- ・ハード面の対策からソフト面の対策に切り替え、自治会やPTA、各種団体等と連携して、「見守り体制づくり」を行う。
- ・通学路に対する新たな安全対策（要望等）については「通学路の交通安全対策庁内連絡会議」と連携して検討する。

《検討中》

☆路線バスを通学用バスとして利用できないかという荷揚町校区からの要望については、今後、教育委員会とも相談しながら協議していきます。

## 児童育成クラブについて

○ 荷揚町、中島、住吉の児童育成クラブ運営委員による合同会議が実施されました。

- ・子育て支援課と3校区の会長、指導員代表、事務局員、保護者代表で今後の方向性（新設の児童育成クラブのあり方、現クラブの今後など）について協議することとしています。

## 施設部会からの報告

### 各部屋の愛称について

○ 新設校における「歩道橋」、「アリーナ」、「アトリウム」、「表現の舞台」、「ランチルーム」の各部屋について、愛称を設けることとしました。



☆愛称の決め方については、児童生徒が主体となって考え、新設校に親しみを持ってもらうために開校後に新設校の児童生徒から公募で決定することとしました。



### 施設開放について

○ 第7回開催の施設部会では、新設校における地域連携室の活用方法の参考とするため、他校の活用事例や、社会教育課で行っている「おおいたふれあい学びの広場推進事業」の実施状況を紹介しました。

○ 地域連携室の具体的な活用方法については、学校支援部会で検討するため、今後も連携して協議を進めることとしています。

### 備品（家具）について

○ 第8回開催の施設部会では、「アトリウム」、「ランチルーム」、「オープンスペース」の各部屋について、より有効な活用が可能となる備品を専門業者から取り寄せ、委員の方々に体験してもらいました。

☆委員からは、「備品の安全性や機能性が確認でき、児童生徒が実際に使用しているイメージが想像できた」など、良好な意見を多くいただきました。



## アドバイザーより



(左) 伊藤アドバイザー  
(右) 西村アドバイザー

- ・初めての施設一体型の小中一貫教育を創っていくだけでも大変なのだろうが、せっかくアクティブ・ラーニング<sup>(\*1)</sup>を前提とした家具が入ってくるので、ぜひ、ここは発想を変えて頭を柔らかくして、いろいろな使い方を考えていってほしい。アクティブ・ラーニングが日本で定着していけば、国民性を変えるくらいの一大事業になると思う。(伊藤アドバイザー)
- ・設計において、学校の外とのつながりを密にする場所を1階部分にまとめ、それが核になって上の階に学校が出来ているというイメージで設計されている。要するに、地域が基盤にあってその基盤の上に学校がある。そのイメージをそのまま形にしたので、その基盤の部分をしっかり作りこんでいくことが、この学校の生命線を握ると期待している。(西村アドバイザー)

( \*1 ) 「課題の発見・解決に向けた主体的・協働的な学び」

## 工事の進捗状況について

- 現在は、基礎工事が行われています。工事は順調に進んでいます。

(教育センター屋上から)



(校舎棟側の様子)



(アリーナ側の様子<基礎>)



(アリーナ側の様子<地下>)



↓  
地下

### 〈編集後記〉

開校準備委員会の様子を広くお知らせするため、開校準備委員会NEWSを発刊するとともに、市のホームページにおいても会議の要旨などを公開しています。

積極的な情報発信に努めてまいりますので、今後ともよろしくお願いいたします。

碩田中学校区新設校

開校準備委員会NEWS「第4号」

発行：平成28年3月

事務局：大分市教育委員会教育企画課

連絡先：大分市荷揚町2-31

097-537-5903 (直通)

kyoikukikaku@city.oita.oita.jp